

TEAM LAND CRUISER

TOYOTA AUTO BODY



DAKAR RALLY 2022 REPORT

道が人とクルマを強くする。

未来のもっといいランクルづくりのヒント。 それをダカールラリーで探し続けている

ト ヨタ車体のラリーチーム、TLC（チームランドクルーザー・トヨタオートポデー）はランドクルーザーでダカールラリー（市販車部門）に挑戦を続けている。フランスのバリからアフリカへ渡り、セネガルのダカールへ至る冒険行として1978年に始まった「バリ」ダカールラリー（当時）はプロドライブや有名アマチュアまで広く人気を集め、やがて世界最高峰の耐久ラリーへと成長した。2009年には競技の舞台を南米アンデス山麓に広がる砂漠地帯、そして2020年からは中東、アラビア半島に移し、現在もサウジアラビアで開催されている。開催地の変更はあったものの、ラリーの過酷さと人とクルマが力を合わせて、ゴールを目指す精神は今も変わらない。

中でもTLCが参戦している市販車部門は改造範囲が限られ、競技中は主要部品の交換が許されない。そのような過酷な状況下でクルマを壊さずに走り切るには、市販車の性能の高さがカギとなる。ランドクルーザーにとって「道が人を鍛え、クルマを鍛える」ための格好のステージである。ラリーを通して得られた技術や経験はクルマづくりに活かされ、さらにラリーで研鑽されていく。ランドクルーザーの開発・生産を担当するトヨタ車体は、モータースポーツを起点とした「もっといいクルマづくり」の推進を目的にこれからもダカールラリーへの参戦活動を続けていく。

また、この活動を通して一人でも多くの人にモータースポーツ、ランドクルーザーの魅力を発信していくこともトヨタ車体の使命である。



ランクル2000とともに歩んだ 14年間にわたるもったいいラリー車づくり

ランドクルーザーの起源は1951年に発表された試作車のトヨタジープBJ型。トヨタを代表するロングセラーモデルである。長年の信頼のもと世界中の厳しい環境下で使われ、ときには辺境で暮らす人々の生活を守るインフラの役割も担う。まさに「どこへも行き、生きて帰ってこられる」クルマだ。

そんなランクルのさらなる研鑽を目的にダカールラリー参戦活動が続けるTLCは、2009年大会を機にそれまでの100系に替えてランドクルーザー2000を投入した。南米での初開催となった同大会は酷暑や南米特有の高い砂丘に苦しめられたが、ランクル2000はデビュー戦を市販車部門1・4位で飾る。その後不運なアクシデントやトラブルから12年・13年は優勝を逃したが、14年大会で王座を奪還。今大会で達成した9連覇はこのとき以来の積み重ねによるものだ。

ランクル2000はトリアルも糧にして改良を続け、20年大会からはオートマチックトランスミッション仕様を採用。さらにTOYOTIRESと専用タイヤを共同開発するなど、常に砂漠での走破性と信頼性を追求してきた。ここで得られた情報は全て市販車の開発現場に還元され、もったいいランクルづくりにつながっている。

また、16年大会で初めてトヨタ車体の社員をドライバーとして起用。ランクルを開発する会社の社員がハンドルを握ることにより、蓄積した経験と知見を市販車の開発現場にダイレクトにフィードバックすることが可能になり、そのアイデアが織り込まれたランドクルーザー3000が2021年6月に誕生した。

TLCの14年間にわたるランクル2000での戦いは今大会で幕を閉じたが、その成果と実績は未来のランクルそしてチーム全体に受け継がれている。



ローラン・リシトイシター
2016年大会よりTLCに参加、国を問わず様々なチームからナビゲーター、メカニックとしてクロスカンントリーラリーに参戦した豊富な経験を武器に持つ。ダカールラリー2016より社員ドライバー三浦とコンビを組む。



三浦 昂 (トヨタ車体)
2005年トヨタ車体に入社。2007年から2015年まで、社員ナビとして計7回のダカールラリーに参戦。2016年大会からはドライバーに転向し、2018年大会ではドライバーとして念願の初優勝を果たす。2021年からチームのエースドライバーを務める。

最初、ドライバー経験のないアキラ三浦DRR(をサポーターとしてほしい)との依頼があったときは驚きました。前例のないケースでその道のは簡単ではないと思っただけです。しかし、ラリーで成績をねらうことはもちろん、同時にランクルを鍛えていく仕事はやりがいもあり、苦勞は振り返れば喜びに変わっていました。今開発しているランクル3000のデビューはもちろん、その後の成長にも期待してほしいです。

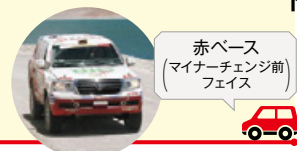
ランクル2000でのラリー参戦は、ラリー車の改良はもちろん、もったいいランクルづくりのために何が出来たのか模索した14年間で、その中で社員としてドライバーに挑戦する機会をもらい、ランクルの持つタフさとユーザーの皆さんの期待を肌で感じました。未来のもったいいランクルのために、これからもランクルと一緒に世界一過酷な道に挑戦し続けていきたいと思っています。



2009 ランクル2000での参戦スタート



抵抗の大きい砂丘と酷暑に苦しむ2年連続優勝を逃す(2012・2013年)



赤ベース
(マイナーチェンジ前)
フェイス

2014 80kg軽量化
(各部補強の最適化、燃料タンク縮小、スヘアタイヤ搭載本数減など)

2015 デフファイナル比変更
(4.100→4.300)

加速性能を高めることにより砂丘走破性を向上



走破性を高めた車両で3年ぶりに優勝

2016 A/C搭載

酷暑による体力消耗を抑えて集中力を維持

2017 ホイルリム幅変更
(8J→7.5J)

砂丘走破性を重視し、ホイールリム幅を変更



青ベース
(マイナーチェンジ前)
フェイス

2018 サスペンション変更
(BOS製へ)

競技の高速化に対応するべく操縦安定性を高めた

2019 後期モデルを投入

新形状のグリル回りや冷却性能を向上

新形状のバンパーや走破性を向上



青ベース
(マイナーチェンジ後)
フェイス

2020 トランスミッション変更
(MT→AT)

南米からサウジアラビアへ

2022 タイヤ変更
(TOYOTIRES製へ)



市販車用ATの信頼・耐久性を競技で実証

専用開発したタイヤの採用で走破性が大幅向上

サウジアラビアステージ

南米ステージ

★ 規則変更に伴いのも

徹底解剖!

ラリーで鍛えた、ランクルの5つの進化

市販車部門は出来るだけ市販車に近い状態で競技に挑戦するための部門。このため、改造が許されるのは基本的に安全性の確保を目的とした部分に限られる。同部門からダカールラリーに参戦するTLCは、ラリーの環境変化への対応や市販車へのフィードバックのため、常に改良を重ねてきた。2022年大会に出場したランクル200は14年間にわたる競技参戦で培ってきた仕様のいわば集大成。ラストランに相応しい、ランクル200のポテンシャルを最大限に高めたマシンに仕上がった。

ここが進化!

2 熟成した足回り

サスペンションの基本構造は変えられないが、スプリングとショックアブソーバーを変更。長年にわたるセッティングの熟成により、高い走破性としなやかな乗り心地を両立させている。



フロントサスペンション(BOS)



リアサスペンション(コイルスプリング・中央発條)



アンダーガード



エンジンルーム

ここが進化!

1 オートマチックトランスミッション

トランスミッションは2020年大会以来、市販車と同じ6速オートマチックを採用。変速操作が不要で運転に集中出来る上、変速が瞬時に行われ、駆動力が途切れないので砂丘越えにも有利だ。



オートマチックトランスミッション



シート(BRIDE)

電子ロードブック

ロールケージ

大会規則による主催者供与品

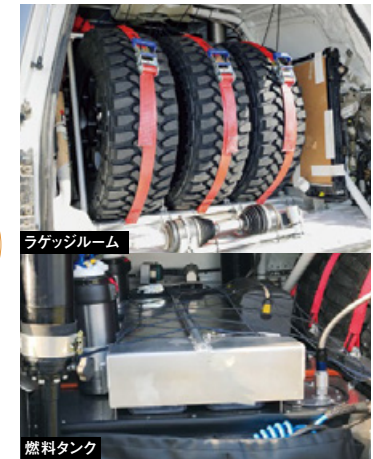
SPECIFICATIONS スペック

ベース車両型式	VDJ200
エンジン型式	1VD-FTV型
総排気量	4,461cc
全長 / 全幅 / 全高	4,950mm / 1,970mm / 1,910mm
最高出力	300ps以上
最大トルク	800N・m以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前 / ダブルウィッシュボーン式 独立懸架コイルスプリング (BOS製) 後 / トレーリングリンク車軸式 コイルスプリング (中央発條製)
ショックアブソーバー	リザーバータンク付複筒ガス式 (BOS製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (エンドレス製・ブレーキパッドのみ)
トランスミッション	6速オートマチック<6 Super ECT>
タイヤサイズ	285/70R17 OPEN COUNTRY M/T-R(TOYO TIRES製)
ホイール	マグネシウム鍛造 17インチ×7.5J (ENKEI製)
駆動方式	4輪駆動(フルタイム4WD)

ここが進化!

5 装備の徹底的な見直しによる軽量化

市販車部門では市販状態の車体を維持する必要があるため軽量化は難しい。それでも燃料タンク容量の最適化やスペアタイヤの搭載本数削減、各部の見直しによって参戦当初に比べて約80kgの重量軽減を実現した。



ラゲッジルーム

燃料タンク

ラリー車両のもっと詳しい情報はこちら



ここが進化!

4 専用開発のタイヤとホイールで走破性向上

今大会で初めて使用したTOYO TIRES製のラリータイヤはTLCと同社が約2年間をかけて共同開発したもの。優れたグリップと剛性でバンクのリスクを下げ、TLCの9連覇達成に貢献した。専用品だが市販もされている。また、軽量高剛性のマグネシウム鍛造ホイールは、砂丘でのリム落ち対策を織り込んだENKEI製の専用開発品。

※市販モデルはアルミ製



タイヤ(TOYO TIRES)とホイール(ENKEI)

ここが進化!

3 ブレーキパッドは専用開発品

ブレーキも基本的に市販車のシステムを使うが、パッドは専用開発された競技用だ。重い車体で強い制動を繰り返すラリー中はブレーキにとっても過酷。専用のブレーキパッドは安全を支える重要なパーツだ。



ブレーキパッド(エンドレス)



油脂類(MOTUL)



工具類(MINEZAWA)



TLCはダカールラリー2022市販車部門にランドクルーザー2000シリーズをベースとするラリー車2台で参戦した。242号車に乗り組むのはトヨタ車体の社員ドライバーとして7度目の出場となる三浦昂と、ペテランナビゲーターのローラン・リシトロイシター。もう2台の245号車には前回大会からチームに加わり、デビュー戦で準優勝を果たしたドライバーのロナルド・パンと、ダカールラリーの経験豊富なナビゲーター、ジャン・ミッシェル・ポラトを引き続き起用した。チーム監督はトヨタ車体の角谷裕司が務め、フィリップ・シャロワ・チーフメカニックのもとで福岡トヨタ自動車から派遣された中武佑太、穴見直樹を含む6人のメカニックがラリー車の整備を担当。このほかカミオンクルーやサポート担当など、総勢18人での参戦となった。ランクル2000をベースにした参戦車両は今回がラストランとなる。チームは8月末にフランス国内のオフロードコース

2000ラストラン、そして市販車部門9連覇達成!

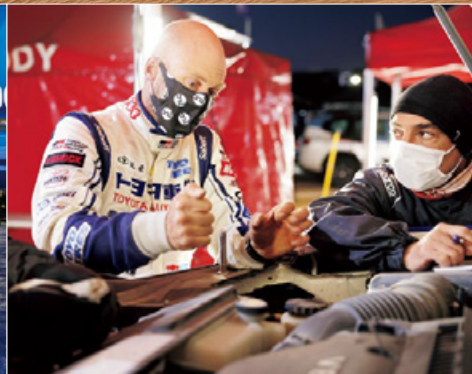
ジを行い北部のハイルへ移動。2日にハイルで競技のスタートが切られ、首都リヤドでの中間休息日を経て14日にジエッタにゴール。14日間12ステージの全行程は約8,000km、うち競技区間の合計は約4,200kmであった。

での走行テストに続いて、10月上旬にはモロッコラリー2021にテスト参戦。セッティングの熟成とともに初めてダカールラリー本番で使用するTOYOTIRESと共同で開発した専用タイヤの特性を確認し、万全の態勢でダカールラリーに臨んだ。



ターゲット。競技終盤に燃料が残り少なくなり、エンジン回転が上がりにくくなる症状が出たが、無事市販車部門1・2位でゴールした。マイナートラブルはその後も続き、4日には245号車の駆動系部品が破損。5日は242号車の右前輪が脱落した。それでも前半戦を終えた時点でTLCは累積順位を242号車が総合41位、245号車も45位として市販車部門のワンツー態勢をキープ。当初5台が出走した同部門だが、競技を続けるのはTLCの2台のみとなっていた。後半戦に入ると乾いて柔らかい砂によつて砂丘越えの難易度が上昇。9日には245号車が切り立った砂丘からの着地でサスペンションにダメージを負うアクシデントも発生した。そして最後の難関となった13日、242号車は競技中にタイヤ4本をパンクさせてしまう。スペアは規定に合わせて3本しか積んでいなかったが、245号車から1本を借りることで競技を続行。その後も2台はどちらかがスタックしたら駆け付けするなど互いにサポートし合いながらSSを走り切った。チームワークで難所を越えたTLCは翌日無事ジエッタに到着。242号車が総合38位、市販車部門1位、245号車が同43位・部門2位の成績でゴールし、ワンツーフィニッシュで市販車部門優勝を獲得した。これによりチームは前人未踏の同部門9連覇を達成し、14年間にわたって活躍したランクル2000の有終の美を飾った。

ダカールラリーが南米から中東のサウジアラビアに舞台を移して3年目。今大会は引き続き新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、主催者とサウジアラビア当局が万全の防疫体制を採った上で開催された。スタートまでの日程はやや変則的で、紅海に面したジエッタでの車検のあと、1月1日に最初のSS(競技区間)の出走順を決める予選ステ



ラリーレポートの詳細はこちら



At Bivouac

アシスタントカミオン



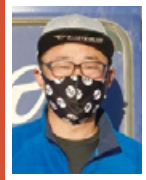
カミオンクルー
ローラン・ソイエ
LAURENT SOHIER

カミオンクルー
ジルベール・デュドン
GILBERT DIEUDONNE

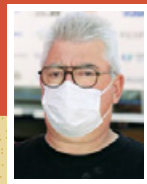
ミーティング用テント



コーディネーター
奥地 博之
HIROYUKI OKUCHI



チーム監督
角谷 裕司
YUJI KAKUTANI
トヨタ車体



チーフメカニック
フィリップ・シャロワ
PHILIPPE CHALLOY

in Japan



チーム代表
本多 篤
ATSUSHI HONDA
トヨタ車体 領域長

アシスタントカミオン



カミオンクルー
ミッシェル・
ボージョン
MICHEL BEAUJEAN



カミオンクルー
ドミニク・バルディ
DOMINIQUE BALDY

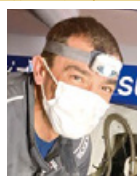
休憩用テント



242整備用テント



CAR #242
メカニック
ティエリ・
モラン
THIERRY MORIN



CAR #242
メカニック
ペドロ・
アンブロシオ
PEDRO
AMBROSIO



CAR #242
メカニック
穴見 直樹
NAOKI ANAMI
福岡トヨタ自動車



カメラマン
寺嶋 優
MASARU TERASHIMA

245整備用テント



CAR #245
メカニック
ルカ・ブロア
LUCAS BEUROIS

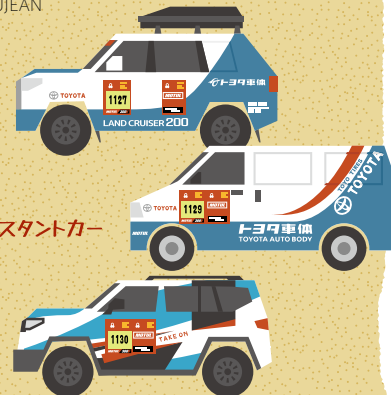


CAR #245
メカニック
パスカル・
ブロア
PASCAL BEUROIS



CAR #245
メカニック
中武 佑太
YUTA NAKATAKE
福岡トヨタ自動車

アシスタントカー



砂漠を走り抜けるタフガイ集団

我々がTLCメンバーズ

親子2代でメカニック、
ラリー中はビリビリしていてもゴールの瞬間踊り出す、
いたずら大好き、などなど...
キャラクターも興味深い、
メンバーの詳細はウェブサイトへ!

メンバーの
プロフィールなど
もっと詳しい
情報はこちら



CAR #242 DRIVER
三浦 昂
AKIRA MIURA
トヨタ車体



CAR #242 CO-DRIVER
ローラン・
リットロイシャー
LAURENT LICHTLEUCHTER

CAR #245 DRIVER
ロナルド・バン
RONALD BASSO



CAR #245 CO-DRIVER
ジャン・ミッシェル・
ポラト
JEAN-MICHEL
POLATO



TLC 2号車
#245

■ヘルメット
(アライヘルメット)

車両の横転もラリーでは珍しくないため選手の頭部を守るヘルメットは必須アイテム。しっかりフィットしながらも通気性にも優れています!



■腕時計(カンオ計算機)

チームメンバーが着用しているのはTLCとG-SHOCKのコラボレーションモデル[MUDMASTER GWG-2000 TLC-1AJR]。防塵・防泥構造が搭載され、衝撃にも強い!まさにアウトドアには欠かせない必需品!販売もされています。



今日の整備もバッチリ!!



■レーシングスーツ(PEF)

イタリアのサベルト社製で、高温に達するラリー車の中でも快適に過ごせるよう通気性も抜群!冷え込むサウジアラビアの夜には毛布の役割も担っているのだとか!



衣
Clothing

■メカニクスーツ(PEF)

メカニクスーツといえどつなぎ!ラリー車の中にもぐったりクルマの内部に腕を入れて整備するため、泥だらけ・油まみれになることも珍しくなく、このつなぎがメカニクスの身を守ってくれます!



■ピットシャツ(TBユニファッション)

記者発表やセレモニーなどのイベントで着用するTLCの正装。この真っ白のシャツを着ると身が引き締まります!



■防寒着(モンベル)

寒暖差の激しいサウジアラビア。気温や天候に合わせて上着で調節!信頼度抜群のモンベル製ジャケットがメンバーの身体を守ります!



■朝食

ビバークの食堂で食べられる、一日のスタートのために欠かせない朝ごはん!オムレツ、ソーセージ、パンケーキ、バナナ、フルーツジュースなど、ボリューム満点!



■羊の丸焼き

今大会の中間休息日に振舞われたラリー期間中のごちそう!後半戦の活力になりました!



■日本食(シマツ)

日本人のソウルフードである日本食。日本食が恋しくなったときはお湯を注ぐだけで簡単に食べられるお米やお味噌汁が本当にありがたい!日本食は美食の国出身のフランス人メンバーからも好評です!

ホッとする...



■夕食

ビバークの食堂で用意される夕食はバスタと肉料理が定番!お肉の種類は毎日違うが味づけは変わらないという噂も...!



食
foods

■ランチパック

主催者から選手へポテトチップスやクラッカー、フルーツジュースなどがお昼ごはんとして供給されます!



■青汁

ラリー期間中は野菜不足になりがちなので、三浦ドライバーは日本から青汁の粉末を持参し、水に溶いて飲んでいました!



■カップラーメン

ラリーの戦況によってはビバークの食堂の営業時間に間に合わず、食事にありつけないときも...そんなときは日本から持ってきたカップラーメンが救世主!頑張った身体に出汁が染み渡り、涙が出るほどの美味しさ!

¥3¥3 食べれる?



これさえあれば、砂漠もへっちゃら!?

TLCの

サバイバルツール

さっぱりした♡

■シャワーブース

サウジアラビアに舞台が移ってからお湯が出るようになったシャワー。でもまれに熱湯or冷水しか出ないという過酷なシャワーに当たることも...



住
housing

■寝袋(モンベル)

軽量コンパクトながら高い保温性が備わっている寝袋。極寒のサウジアラビアの夜を越えるための必需品!この寝袋に入って見上げた星空が美しく、明日も頑張ろうと思えます。



きれいに なったかな?



■洗濯

2週間にわたるキャンプ生活では洗濯もします。カミオンに洗濯機が積まれており、今大会はカミオンクルーのボーションが率先してメンバーの衣服を洗濯してくれました!



中はこんな感じ



意外と広々とした空間があり、長身のメンバーでも閉塞感さは感じません!

■テント(モンベル)

冷たい雨や風からメンバーを守ってくれる、ラリー期間中の家。プライベート空間が保たれ、キャンプ生活の中でも快適に眠れます!

広いビバークも 自転車があれば へっちゃら!



■メディカルセンター

ビバークにはメディカルセンターがあり医師や看護師が常駐している。今大会はパンドライバーが第7ステージで腰に衝撃を受けた際にお世話になりました。



Thank You For Your Support!

DAKAR RALLY 2022

ダカールラリー2022を共に戦ったパートナー企業の皆さま

- | | | |
|--|--|--|
| トヨタ自動車株式会社
株式会社榎屋
株式会社江口蔵商店
古河電気工業株式会社
矢崎総業株式会社
豊臣機工株式会社
豊和化成株式会社
株式会社アイシン
川崎設備工業株式会社
株式会社大林組
株式会社イノアックコーポレーション
新和薬品株式会社
株式会社ジェイテクト
豊田合成株式会社
愛知トヨタ自動車株式会社
株式会社トピア
サントリービレッジソリューション株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
カリツー株式会社
株式会社PEO
ビューテック株式会社
株式会社メイドー
中川産業株式会社
ニューライトサービス株式会社
株式会社コベルク
日本ゼネラルフード株式会社
株式会社東海理化電機製作所
株式会社東海特装車
カンオ計算機株式会社
株式会社アライヘルメット
株式会社モンベル | TOYO TIRE株式会社
豊田通商株式会社
関西ペイント株式会社
共栄タイヤサービス株式会社
株式会社小糸製作所
株式会社TDC
ウチダ株式会社
株式会社デンソー
株式会社きんでん
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
小野電気株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
石原商事株式会社
中央発條株式会社
トヨタホーム株式会社
白月工業株式会社
住友電気工業株式会社
三岐通運株式会社
高砂熱学工業株式会社
株式会社東郷製作所
太平洋工業株式会社
株式会社杉浦製作所
株式会社青山製作所
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
株式会社エムエス製作所
名古屋トヨペット株式会社
愛知製鋼株式会社
福岡トヨタ自動車株式会社
ブリッド株式会社
エンケイ株式会社
シマツ株式会社 | Abdul Latif Jameel Motors
トヨタ紡織株式会社
東海興業株式会社
日本ペイントオートモーティブコーティングス株式会社
株式会社ニッコー
小島プレス工業株式会社
株式会社豊田自動織機
トリニティ工業株式会社
林テレンブ株式会社
丸高株式会社
株式会社中外
住友商事株式会社
中央電気工事株式会社
清水建設株式会社
豊精密工業株式会社
株式会社魚国総本社
タケショウ株式会社
株式会社MINEZAWA
株式会社大気社
エムサービス株式会社
株式会社クリモト
株式会社三五
株式会社セカイズ
株式会社ワイテック
アスカ株式会社
株式会社フジタ
岐阜車体工業株式会社
MOTUL Japan 株式会社
TBユニファッション株式会社
株式会社エンドレスアドバンス
株式会社PEF |
|--|--|--|

We will be back
at the DAKAR RALLY of 2023
with our LAND CRUISER 300!

SEASONS

2021 ▶ 2022

走行テスト



8月 海外テスト
@フランス トゥールーズ近郊



4月
国内テスト@スピードパーク恋の浦
(タイヤテスト、日本人メカニック育成)

10月
モロッコラリー2021
@モロッコ ザゴラ



11月 シェイクダウン及び準備
@フランス ニース郊外

11月
新型ラリー車テスト
@フランス リヨン郊外



2022年2月
新型ラリー車テスト
@フランス トゥールーズ近郊

イベント



7月
「オールトヨタドライブ王国2021」
@札幌自動車学園



11月 富士松東小学校講演会

2022年1月「TOKYO AUTO SALON 2022」
@幕張メッセ



11月 パートナー企業交流会 &
参戦発表会



2月 応援旗贈呈式
@GR Garage 高辻

オンラインイベント

6月
新型ランドクルーザー
ワールドプレミア



8月「70th LAND CRUISER DAY」



- 随時:「TLC LIVE」@TLC Instagramアカウント
- 随時:「ランクルちゃんねる」出演
- 12月:「トヨタタイムズ放送部」出演





TLC の活動や映像など、さまざまな情報を発信

OFFICIAL MEDIA

▶ TLC オフィシャル ウェブサイト

<https://www.toyota-body.co.jp/dakar/>

TLC の活動を中心に、ダカルラリーの関連情報をお届けします。



▶ TLC オフィシャル Facebook

<https://m.facebook.com/TeamLandCruiser>

写真や動画で TLC の活動情報をお届けします。



▶ TLC オフィシャル Instagram

https://www.instagram.com/tlc_tab/

ラリー参戦の様子や、選手の日常を写真でお届けします。



▶ TLC オフィシャル YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC10HiKoepJGoK0wGn0E8FKg>

選手のインタビューやラリーの様子など、動画でお届けします。



▶ TLC オフィシャル ブログ

https://blog.goo.ne.jp/tlc_tab

ラリー参戦活動の模様や、その他関連情報をお届けします。



発行/トヨタ車体株式会社 総務部 広報室

<http://www.toyota-body.co.jp>

禁無断転載

